



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 17 年 1 月 28 日

上場会社名 ソマール株式会社

(コード番号：8152 東証第 2 部)

(URL <http://www.somar.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 木澤 欣一 (TEL:(03)3542-2152)
責任者役職・氏名 経理部長 渡部 泰栄

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

・法人税等の計上基準.....簡便な方法により計算しております。

最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期の財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期 第 3 四半期	27,185	4.6	411	1.3	389	5.6	373	10.5
16 年 3 月期 第 3 四半期	26,002	-	406	-	369	-	337	-
(参考) 16 年 3 月期	34,685		535		484		409	

	1 株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17 年 3 月期 第 3 四半期	19.12	-
16 年 3 月期 第 3 四半期	17.28	-
(参考) 16 年 3 月期	20.95	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期のわが国経済は、景気回復感が見え始めたものの海外需要の鈍化、原油価格の高騰、円高の進行もあって景気が足踏みの様相を呈してまいりました。

このような情勢下、当社は高付加価値製品へ経営資源を投入し強靱な収益基盤を確立するため、ビジネス拡大とその強化、一層の生産性の向上、コスト削減等の諸施策を鋭意実施に努めております。

この結果、当第 3 四半期における業績は、売上高は 271 億 8 千 5 百万円、営業利益は 4 億 1 千 1 百万円、経常利益は 3 億 8 千 9 百万円、当第 3 四半期純利益は 3 億 7 千 3 百万円となりました。

次に、営業の状況についてご説明申し上げます。

[仕入販売]

製紙用化学品 塗工用バインダーは、一部シェアダウンがあったものの、需要増加と値上げにより増収となりました。また、その他製紙用化学品は、新規商権の獲得が寄与したことにより、大幅な増収となりました。全体では売上高は前年同期比 21.0%増の 77 億 9 千万円となりました。

電子材料 フレキシブルプリント基板は、オリンピック効果による液晶・プラズマテレビの販売増加と、携帯電話の液晶画面の基板ベース材であるポリイミドフィルムの需要が堅調に推移しましたが、後半に入り IT 関連商品が在庫調整期間に入ったことなどにより、需要が鈍化し、ほぼ横ばいとなりました。リジット基板の回路形成用ドライフィルムは、IT 関連製品等への用途展開が進展したものの、一部輸入品の台頭により予想を若干下回りました。全体では売上高は前年同期比 2.1%増の 81 億 4 千 3 百万円となりました。

機能性樹脂 熱可塑性樹脂は、自動車・家電関連用途のエンブラ材料が前事業年度から引き続き好調を保っております。また、熱硬化性樹脂は輸入材の商流変更や品不足の影響により減収となりましたが、全体では売上高は前年同期比 2.5%増の 40 億 7 千 6 百万円となりました。

その他 食品材料は、需要が低迷するなか、増粘安定剤の新アイテムが寄与し横ばいとなったものの、印刷製版材料は、進行するデジタル化の影響により減収となり、全体では売上高は前年同期比5.1%減の12億5千3百万円となりました。

[製造販売]

コーティング製品 高機能フィルムは、電子部品業界の活況を背景に既存製品のシェア拡大と、新規開発製品の投入が寄与したことにより大幅な増収となりました。
産業資材フィルムは、デジタルカメラ等が在庫調整期間に入ったことにより需要が鈍化し、若干の減収に留まりました。しかし、画像用フィルムは、全体の需要は低迷しているものの、業務提携の効果により増収となりました。
この結果、コーティング製品全体では売上高は前年同期比3.0%増の18億3千9百万円となりました。

高機能樹脂製品 電気絶縁用樹脂は、堅調な自動車生産、中国を中心とした旺盛な海外需要と、自動車電装品、小型モーター向けの環境対応製品が堅調に推移したため、全体では売上高は前年同期比10.1%増の25億8千4百万円となりました。

ファインケミカルズ 既存製品がほぼ前年並みを維持するなか、従来から進めてきた新規開発製品が売上計上に至り、全体では売上高は前年同期比4.8%増の7億6千万円となりました。

その他 基板用フィルムについては若干需要の鈍化が見え始めたものの、依然、品薄により需要に対する供給が繋がらず減収となりました。また、前期末で終了した回路基板関連機器ビジネスの影響もあり、全体では売上高は前年同期比48.5%減の7億3千7百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期 第3四半期	25,977	14,673	56.5	751.29
16年3月期 第3四半期	25,054	14,291	57.0	731.01
(参考) 16年3月期	24,216	14,606	60.3	747.25

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期 第3四半期	427	624	129	1,570
16年3月期 第3四半期	1,889	103	1,544	2,079
(参考) 16年3月期	1,870	231	1,581	1,897

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における現金及び現金同等物は前期末に比べて3億2千6百万円減少し、15億7千万円となりました。なお、各項目の増減は、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億2千7百万円の資金の増加となりました。その主な要因は、税引前当期純利益が3億9千1百万円となり、減価償却費を4億1千5百万円計上したものの、棚卸資産が5億7千4百万円増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億2千4百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、投資有価証券の取得に3億7千1百万円を支出したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億2千9百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払額1億8千5百万円であります。

3. 平成 17 年 3 月期の業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	36,000	500	400	20.48

[業績予想に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における業績は、概ね計画通りに推移しており、業績予想に修正はありません。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

[添付資料]

・ 四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位 : 百万円 ・ %)

期 別 科 目	当 四 半 期 平成 17 年 3 月期 第 3 四 半 期 末	前 年 同 四 半 期 平成 16 年 3 月期 第 3 四 半 期 末	増 減		(参 考) 平成 16 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資 産 の 部)					
流 動 資 産					
現 金 及 び 預 金	1,570	2,079	509		1,897
受 取 手 形	472	711	238		717
売 掛 金	12,412	11,056	1,356		10,319
た な 卸 資 産	2,316	1,793	523		1,742
繰 延 税 金 資 産	190	188	1		190
そ の 他	141	577	435		514
貸 倒 引 当 金	52	78	26		75
流 動 資 産 合 計	17,052	16,327	725	4.4	15,305
固 定 資 産					
有 形 固 定 資 産					
建 物	1,959	2,116	156		2,065
機 械 及 び 装 置	1,060	1,172	112		1,115
土 地	406	420	13		420
そ の 他	257	317	60		264
有 形 固 定 資 産 合 計	3,683	4,026	342	8.5	3,864
無 形 固 定 資 産					
ソ フ ト ウ ェ ア	36	60	24		52
そ の 他	6	18	12		7
無 形 固 定 資 産 合 計	42	79	37	46.8	60
投 資 そ の 他 の 資 産					
投 資 有 価 証 券	3,648	3,105	542		3,458
長 期 貸 付 金	0	0	0		0
差 入 保 証 金	1,462	1,417	44		1,438
そ の 他	183	177	6		174
貸 倒 引 当 金	95	79	15		86
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	5,198	4,620	578	12.5	4,985
固 定 資 産 合 計	8,924	8,726	198	2.3	8,910
資 産 合 計	25,977	25,054	923	3.7	24,216

(単位：百万円・%)

期 別 科 目	当 四 半 期 平成 17 年 3 月期 第 3 四 半 期 末	前 年 同 四 半 期 平成 16 年 3 月期 第 3 四 半 期 末	増 減		(参 考) 平成 16 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(負 債 の 部)					
流 動 負 債					
支 払 手 形	606	637	31		549
買 掛 金	7,353	6,658	694		5,620
短 期 借 入 金	650	118	532		201
未 払 金	382	524	141		399
未 払 法 人 税 等	42	18	23		25
賞 与 引 当 金	80	76	4		149
設 備 関 係 支 払 手 形	11	75	64		41
そ の 他	57	41	15		14
流 動 負 債 合 計	9,185	8,152	1,033	12.7	7,000
固 定 負 債					
長 期 借 入 金	750	1,250	500		1,137
退 職 給 付 引 当 金	685	647	38		659
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	103	168	65		171
繰 延 税 金 負 債	570	544	26		641
そ の 他	9	-	9		-
固 定 負 債 合 計	2,118	2,610	491	18.8	2,609
負 債 合 計	11,304	10,762	541	5.0	9,610
(資 本 の 部)					
資 本 金	5,115	5,115	-		5,115
資 本 剰 余 金					
資 本 準 備 金	4,886	4,886	-		4,886
利 益 剰 余 金					
1. 利 益 準 備 金	419	419	-		419
2. 任 意 積 立 金					
(1) 圧 縮 記 帳 積 立 金	8	8	0		8
(2) 別 途 積 立 金	2,100	2,100	-		2,100
3. 四 半 期 (当 期) 未 処 分 利 益	1,210	960	249		1,032
利 益 剰 余 金 合 計	3,738	3,488	249	7.2	3,560
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	945	808	137	17.0	1,051
自 己 株 式	12	6	5	94.7	7
資 本 合 計	14,673	14,291	381	2.7	14,606
負 債 ・ 資 本 合 計	25,977	25,054	923	3.7	24,216

(2) 四半期損益計算書

(単位 : 百万円 ・ %)

期 別 科 目	当 四 半 期 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期	前 年 同 四 半 期 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期	増 減		(参 考) 平成 16 年 3 月期
	金 額	金 額	金額	増減率	金 額
売 上 高	27,185	26,002	1,183	4.6	34,685
売 上 原 価	24,424	23,273	1,150	4.9	31,039
売 上 総 利 益	2,761	2,728	33	1.2	3,646
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,350	2,322	27	1.2	3,110
営 業 利 益	411	406	5	1.3	535
営 業 外 収 益					
受 取 利 息	0	0	0		0
受 取 配 当 金	15	20	4		20
そ の 他	11	13	2		17
計	27	34	6	18.5	37
営 業 外 費 用					
支 払 利 息	19	23	4		30
手 形 売 却 損	8	10	1		13
そ の 他	22	37	15		45
計	49	71	21	30.1	89
経 常 利 益	389	369	20	5.6	484
特 別 利 益					
固 定 資 産 売 却 益	-	70	70		71
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	16	-	16		-
そ の 他	-	-	-		6
計	16	70	54	76.2	77
特 別 損 失					
固 定 資 産 売 却 損	6	3	3		3
固 定 資 産 除 却 損	6	51	45		68
役 員 保 険 解 約 損	-	17	17		17
そ の 他	2	8	6		38
計	15	81	66	81.3	128
税 引 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	391	358	32	9.1	432
法 人 税 等	18	21	3	14.3	23
四 半 期 (当 期) 純 利 益	373	337	35	10.5	409
前 期 繰 越 利 益	934	681	253		681
中 間 配 当 額	97	58	39		58
四 半 期 (当 期) 未 処 分 利 益	1,210	960	249		1,032

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 四 半 期	前 年 同 四 半 期	(参 考)
	平成 17 年 3 月 期 第 3 四 半 期	平成 16 年 3 月 期 第 3 四 半 期	平成 16 年 3 月 期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	391	358	432
減価償却費	415	456	617
貸倒引当金の増減額(減少：)	14	-	11
退職給付引当金の増加額	26	29	41
役員退職慰労引当金の減少額	67	35	33
受取利息及び受取配当金	16	20	20
支払利息	19	23	30
固定資産売却益	-	70	77
固定資産売却損	6	3	3
固定資産除却損	6	51	68
固定資産評価損	-	-	19
投資有価証券評価損	0	8	11
売上債権の増減額(増加：)	1,848	483	247
たな卸資産の増減額(増加：)	574	338	389
仕入債務の増減額(減少：)	1,789	1,117	8
未払(未収)消費税等の増減額(減少：)	92	40	55
その他の	414	108	125
小 計	456	1,927	1,913
利息及び配当金の受取額	16	14	14
利息の支払額	18	24	30
法人税等の支払額	26	27	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	427	1,889	1,870
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	263	185	301
有形固定資産の売却による収入	14	148	149
有形固定資産の除却による支出	2	18	21
無形固定資産の取得による支出	0	0	0
無形固定資産の売却による収入	0	-	6
投資有価証券の取得による支出	371	58	73
その他の	0	11	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	624	103	231
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる純減額	-	1,500	1,500
長期借入金の返済による支出	89	492	521
長期借入れによる収入	150	500	500
自己株式取得による支出	4	0	1
配当金の支払額	185	51	58
財務活動によるキャッシュ・フロー	129	1,544	1,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3	1
現金及び現金同等物の増減額	326	238	56
現金及び現金同等物の期首残高	1,897	1,841	1,841
現金及び現金同等物の期末残高	1,570	2,079	1,897

・比較品目別売上明細表

(単位：百万円)

品 目		当 四 半 期 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期		前年同四半期 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期		(参 考) 平成 16 年 3 月期	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
仕 入 販 売			%		%		%
	製紙用化学品	7,790	28.6	6,441	24.8	8,436	24.3
	電子材料	8,143	30.0	7,973	30.6	10,713	30.9
	機能性樹脂	4,076	15.0	3,977	15.3	5,410	15.6
	その他	1,253	4.6	1,319	5.1	1,799	5.2
	仕入販売 計	21,263	78.2	19,711	75.8	26,360	76.0
製 造 販 売							
	コーティング製品	1,839	6.8	1,785	6.9	2,420	7.0
	高機能樹脂製品	2,584	9.5	2,347	9.0	3,123	9.0
	ファインケミカルズ	760	2.8	725	2.8	953	2.7
	その他	737	2.7	1,431	5.5	1,827	5.3
	製造販売 計	5,922	21.8	6,290	24.2	8,325	24.0
合 計		27,185	100.0	26,002	100.0	34,685	100.0